

JAAC だより

留学成功の鍵は柔軟な留学計画にあり

— 休暇中は留学プランの見直しと立て直し —

皆さんはそれぞれの夢に向かってアメリカ留学を決断し、はるばる海を渡って来たのだと思います。将来、英語を使う仕事に就いている自分の姿を思い描き、自分の夢を実現する手段の一つとしてアメリカに来た人。また、アメリカのキャンパスを闊歩する自分の姿を夢見て、留学そのものを目的としてアメリカに来た人もいることでしょう。いずれにしても、JAAC生一人ひとりが、それぞれの将来への夢を胸に秘めて留学を決意したことは確かですね。しかし、留学後の時間の経過と共に、いつしか留學生の夢は変わることもあり、自分の意に反して将来の夢を変えざるをえなくなったことを自ら悟ることもあります。それは、皆さんにとっての成長の証の一コマでもあり、夢と現実との間のあまりにも大きな隔たりを知らされる瞬間でもあります。留学は自分が考えた計画通りにはいかないことも多いようです。

カリフォルニアでは、JAAC生のほとんどがUCI（カリフォルニア大学アーバイン校）でのESL英語研修を終えると、近隣のコミュニティー・カレッジ（2年制大学）に進学します。そして、コミュニティー・カレッジを修了、又は卒業すると、カリフォルニア州内の4年制大学の3年次に編入していきます。このように、一つひとつの節目を越えながら前に進んで行くことは、傍から見ると容易ではありません。自分の立てた留学プラン通りに物事が進むことは、むしろ幸運とも言えるでしょう。英語力の不足によりESL英語研修を予定よりも1学期多く受講することになり、結果としてコミュニティー・カレッジへの入学が1学期遅れることもあります。大学でも専攻を途中から変え、卒業予定が延びることもしばしばです。一応、コミュニティー・カレッジに入学した当初から専攻を決めなくてはなりません、在学中に自分の興味のある学科や専攻に出会い、新たな分野への再挑戦を始めることもあるのです。これはむしろ自然なことと言っても良いでしょう。また、色々な人たちとの出会いを通して視野も広がり、将来の進みたい道も変わり、自ずと自分の夢も変わってくることもあるでしょう。さらには、4年制大学に編入する際にも、UCバークレー校やUCLA校のような名門大学への進学を計画するのであれば、それなりに高いGPA成績を維持し続けなければなりません。よって、成績の如何によっては、希望する大学への編入が叶わないこともあります。このような事のいくつかが重なり合い、自分が思い描いていた留学プランが徐々に変わってくる場合がありますね。これはカリフォルニアだけのものではなく、JAACミズーリ（SEMO）でも同様のことが言えるのではないのでしょうか。

そもそも、それぞれの学生が立てた留学計画は日本を出発する前に考えられたものです。実際に留学地に来て、大学の授業に出てみて初めて英語の難しさや自分の能力不足を痛感し、留学計画そのものを変更せざるを得ない場合もあることでしょう。しかしながら、その事を悲観し、自分を責める必要はないと思います。英語力が不足しているなら、英語を一生懸命に頑張っただけで勉強すれば良いのですから。辛い経験をして英語力の不足が分かったのですから、かえって自分の弱点が見つかって良かったと思いませんか。進級や進学が1学期遅れたのであれば、次の学期から頑張れば良いのです。たとえ大学の途中で専攻を変えたとしても、その事自体が皆さんの将来にマイナスに働くことはありません。専攻を変えたことによって、今までの自分とは異なる自分を再発見し、思いもかけなかったような将来の自分の姿があるかもしれません。自分の留学計画は唯一これだッ、とか、自分の進路はこれしかないッ！！、などと単純に決めつけてしまい、あまりにも早い時期から将来設計を絞り込んでしまうと、自分で身動きができなくなってしまいます。そうすると、自分の発想や考えをかえって狭くしてしまい、視野を広げて物事を見つめることができなくなってしまふ場合もあります。どのような留学計画を立てようとも、必ず自分のゴールに行き着くはず。むしろ、そのゴールを何に定めるかということの方が大事なこともあるかもしれません。必要なのは、留学計画を実行する際の柔軟な姿勢です。改めて言うまでもありませんが、柔軟な姿勢と中途半場な気持ちとは全く違います。

2009年も残すところ、あと約1ヶ月半となりました。今年の皆さんの留学計画はどうでしたか？ 自分の意図するような単位の取得はできましたか？ GPA成績は自分の思い通りのポイントに達していますか？ これから年末年始をはさんで冬休み休暇になりますね。日本に帰省する人も、アメリカ国内で年末年始を迎える人も、この休暇中に是非とも今年1年の反省をして、来年の新学期に向けての準備を怠らないようにしてください。来年は入学、編入、転校、卒業などを予定している学生もいることでしょう。一人ひとりが留学計画を見直して、必要に応じて計画を立て直すことが大切です。どのような状況に陥ったとしても、早期に態勢を立て直すことができるように柔軟な計画を立てておくことが最も重要です。繰り返しますが、必要に応じて計画や予定を変更する柔軟性は、計画の途中で諦めてしまい、止めることとは違います。（カリフォルニア事務局： 照井）

カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：照井)

【2009年の3大ニュース】

1. カリフォルニア州における今年の3大ニュース第1位は、やっぱり偉大なスーパースター、“King of Pop (ポップの神様)”の突然の死です。6月25日、マイケル・ジャクソン (Michael Joseph Jackson) がロサンゼルスで自宅で急逝しました。享年50。未だに死因は謎めいていますが、世界中の人々の心に大きなショックを与えたことは間違いありません。私生活では色々なスキャンダルもありましたが、彼のアーティストとしての活動は、単に優れた音楽創造活動に留まらず、多くのアフリカ系アメリカ人アーティストをアメリカから世界に向けて生み出す機会を創ってきた功績も大きなものです。
2. 今年のカリフォルニア州3大ニュースの第2位にランクインさせたいのは、やはり『財政危機に陥ったカリフォルニア州』だと思います。今年の7月2日、同州シュワルツネッガー知事がカリフォルニア州の財政非常事態を宣言した時は本当に驚きました。カリフォルニア州はアメリカで最も裕福な州と言われ続けていたのに、何故!? Why? としか言いようがありませんでした。カリフォルニア州政府が債権者に対して将来の支払いを約束する「IOU (借書書)」を発行するなど前代未聞でした。日本ではとても考えられない処置です。当然、同州職員への給料もカットされ、様々な公共サービスの提供が難しくなり、毎月第1、2、3金曜を大半の州政府機関の休業日とする行政命令も発表しました。シュワちゃん (シュワルツネッガー知事)、早く何とかしてよ!!
3. そして、第3位にランクインさせたいニュースは同州立大学授業料の大幅な値上げです。軒並み、どのカリフォルニア大学も大幅な授業料の値上げを行い、留学生にとってはとても辛い年が続きそうです。UCIにいたっては、値上げ前の平均的な1学期分の授業料が\$8,000であったのに対し、今年の秋学期からは\$12,000近くまで一気に値上がりしました。一般的に、留学生は地元のアメリカ人学生の授業料の約3倍近くを払わなくてはならないので、留学生にとってはこの戸惑いと憤りをどこにぶつけて良いのか解からない状況です。これを受けて、UCI エクステンションのESL 英語研修費用も値上がりしました。

ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【2009年の3大ニュース】

1. 何と言っても今年の Top News は、2009年はJAAC ミズーリ事務局開設 25年目にあたり、弊事務局としても、そして、一人ひとりのJAAC生にとっても様々な思い出と共に心に残る年となりました。文字通り2009年度JAAC生は25世代目の学生となったのです。四半世紀に渡りサウスイースト・ミズーリ州立大学と共に歩んできたJAAC事務局の功績を称え、これを記念して同大学はJAAC生に対する本年の特別奨学金制度を設立し、成績が優秀と認められた2006年度生男子学生1名に対して奨学金が給付されました。
 2. 今年2番目に大きなニュースとしては、2002年度生の男子学生と女子学生が今年5月に日本で結婚式を挙げたことです。彼らがアメリカで学生生活を送っている時、男子学生はサウスイースト・ミズーリ州立大学 (SEMO) からシカゴにある大学に転校し、その大学を卒業しました。一方、お相手の女子学生はここ SEMO に残り、卒業まで過ごしたので、お互いに離ればなれになり遠距離恋愛に挑戦した末に晴れて日本で結婚式を迎えたのです。結婚式は盛大で大変素晴らしいものとなり、あたかも2002年度生の同窓会の集まりになり、結婚されたお二人もとても幸せそうでした。ご結婚おめでとうございます!!
 3. そして、ここミズーリにおいて今年3番目に話題を呼んだニュースは歓喜の叫びとも言えるべきものでした。それは、今年6月にセント・ルイスのブッシュ・スタジアムを本拠地とする米大リーグ『セント・ルイス カーディナルス』の試合の中で休憩時間に行われた、エアー・ギター コンテストでビートルズを真似た4人の日本人学生グループが見事優勝したことでした。この様子は球場内の巨大テレビスクリーンに映し出されました。この日本人4人組は誰なのか!!? 彼らは全員JAAC生で、2006年度生2名と2007年度生2名の学生達でした。驚いたことに、彼らはコンテスト本番前の少しだけ空いた時間に出演させるために、球場のスタッフが観客の中から見つけて出演させたのでした。
- そして、最後に私から個人的に一言申し上げます。この11月6日をもって、JAAC 勤続15年を迎えました。(Lyman)

— 新型インフルエンザ A (H1N1) における注意喚起とご協力をお願い —

新型インフルエンザの感染は確実に拡大しています。日ごろから体調管理に努めて、何らかの体調異変を感じた際には速やかに医療機関での診療と治療処置を受けるようにしてください。

この新型インフルエンザの症状は、「急な発熱」、「頭痛」、「せき」、「痰」、「身体の痛みやだるさ」、「下痢」、「嘔吐」、「食欲不振」といった一般的な風邪の症状に良く似ていると言われています。症状の出方には個人差があると思います。これらの症状の内ですぐれかに該当する場合は、早急に適切な処置を取ってください。

時節がら、一般の風邪も流行っていますので、一般の流行りの風邪なのか、それとも新型インフルエンザなのかの判断は医療機関に任せ、絶対に各自の素人判断で決めないようにしてください。

また、インターネット等により日本の感染状況の情報を得るように心がけてください。特に、年未年始に帰省する皆さんは、事前に日本の保護者と相談の上、帰国の是非や日程等を決めてください。なお、帰省にあたっては、事前に帰国の日程及び利用航空会社、航空機便名等を JAAC カウンセラー、又は、JAAC 日本事務局にお知らせいただけますよう、皆さんのご協力をお願いいたします。

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・?

～ アメリカの社会が変わり始めた ～

Melting Pot (人種のるつぼ) から Salad Bowl (サラダボウル) へ

最近、アメリカ社会の変化を指摘する有識者が増えてきました。そもそもアメリカ合衆国は異なる人種と文化的背景を持つ人々が一つに混ざり合っ成り立っていると言われていました。いわゆる、『人種のるつぼ』です。ところが、アメリカの歴史上初のアフリカ系アメリカ人であるバラック・オバマ氏が米大統領になってから、それぞれの人種と独自の文化を持つ人々は、彼らのアイデンティティーをそのまま残した形で、アメリカと言う一つの国の中での存在をアピールしているようです。まるで、サラダボウルの中で一つひとつの存在を意識しているレタスやトマト、キュウリや人参などの野菜片のようだ、と言われるようになりました。これは、マイノリティー (少数派民族・人種) グループから生れたオバマ大統領の影響だろうか、と考えられています。日系アメリカ人は野菜に例えると何になるんだろう。

Help Line

FAQ

「口座がある銀行名が変わったのですが大丈夫ですか?..」

A: リーマンショックによる影響が金融機関の統廃合や買収という形で現れています。おそらく、今までお金を預けていた銀行が他の銀行 (新しい銀行名) によって買収された結果だと思います。銀行から特別な書面による通知がない限りは、預金者の口座番号等は変わりません。しかし、Personal Check (個人用小切手) 帳や銀行のキャッシュ・カード等は機会を見て交換されると思いますので、銀行に行き尋ねてみることをお勧めします。また、日本のご家族から海外送金をされる際には、新しく名前が変わった銀行に、海外からの送金を受けるための案内書がありますので、その用紙をご家族のお手元に届けておく必要があります。手続きは早めにすませるようにしてください。

【編集後記】 ●本当に月日の経つのが速く感じるようになった。もう、今年もあと約1ヶ月半で終わりだ。振り返ってみれば、色々なことがあった。今年の最大の出来事は自民党が野党に降り、民主党が政権を奪取したことだ。アメリカにおいても状況は異なるにせよ、史上初のアフリカ系アメリカ人が大統領に選出されたのは、予期していたこととは言え、いざ本当になるとやはり驚きを隠せないのではないだろうか。マスコミが報道しているように、今後の日米関係が気になる▼日本の治安は一体どうなっているのかねえ。以前は、日本は世界一安心な国と持てはやされていたが、今日では、それはもはや伝説でしかないようだ。毎日のように報道される殺人、殺傷事件、死体損壊、死体遺棄、等々、恐ろしい事件のオンパレードが続いている。何となく、アメリカの方が治安が良いような気がしてならない■アメリカの社会が変わってきているらしい。それにしても、人種のるつぼに対して、サラダボウルとは良く言ったものだ。見事に的を射ているとしか言いようがない。日系アメリカ人は野菜に例えると何になるのだろうか。いくら日系米人とは言え、黄色い肌の色は変えようがないから、さしずめ黄色いペッパー (黄ピーマン) かな。そう言えば、30年以上前に私がアメリカの大学生だったころ、アフリカ系アメリカ人の友達から、日本人はバナナと言われている、と聞いたことがある。その理由は、表面は黄色い (肌が黄色) けど、一皮むけば中身は白 (白人) 色なので、どうせ日本人もアフリカ系アメリカ人を差別する目で見、考え方は白人寄りだろう、と言っていた。上手いこと言うじゃないか▲先月 (10月) の末のハローウィンのころ、我が家の近所の子供達がお化けの衣装を着て歩いていた。たぶんあの幼子たちはハローウィンの意味なんてこれっぽっちも知らないで、ただお祭り気分浸っているんだろうな。ハローウィンはもともとヨーロッパのケルト人の文化から来ているものだ。そう言えば、日本のクリスマスの祝い方も同じことだな。やれやれ・・・。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

- ▲冬休み期間中に帰省される方へ： アメリカへの再入国の際に在籍校発行の入学許可証 (I-20) が必要となります。帰省前に必ず、同許可証の裏面に学校担当者のサインをもらい、必ず日本に持ち帰るようにしてください。
- 冬休み期間中にパスポート・留学 (F-1) ビザの更新手続きをされる方へ： 年末年始は官公庁及びアメリカ大使館の休業日が多くなります。パスポートや留学ビザ (F-1) 取得手続きに要する時間を十分に考慮し、余裕をもって更新手続きを行ってください。なお、手続き上のご質問等はお気軽にご相談ください。
- ★帰省中に就職活動をされる方へ： 必要に応じて各企業の就職担当者には必ず連絡が取れる連絡先を伝えてください。また、場合によっては帰省している期間や再渡米する日程等を予め伝えておくとうまいと思います。提出する書類のうち、在籍している大学から取り寄せるものがある場合は、大学側にその旨を伝えて迅速な対応をお願いしましょう。アメリカの大学側も冬休み期間中は通常と異なる時間帯での窓口業務を行う場合がありますので、気をつけてください。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp